

発見!

ちょっと気になる

まちの人



綾瀬東区

さかき とみ お
神 富男さん (右)
う の かず ゆき
宇野和之さん (左)

昨今、各地で子ども達の登下校時の交通事故のニュースや不審者に関する情報を見聞します。

そのようななか、雨の日も風の日も子どもたちの安全のために通学路を見守り続けている方々がいます。

今月はその活動を行う綾瀬東区在住のお二人にお話を伺いました。

見 守りを始めたきっかけは

神さん きっかけは、老人会で会合の際、子ども会の当時の会長さんがいらして、「みなさんお時間の都合が比較的つくでしょうから、子どもたちの学校の登下校時に見守りをしていただけませんか」と依頼がありました。子どもは好きなのでやりましょうと最初は4人くらいで、自由参加で始めました。旗ふりを始めて今年の6月で13年になります。

宇野さん わたしは誰かに頼まれて始めたわけではないんです。自分の子どもたちは実家を離れ独立し、ほかの市に住んでいますが、孫たちはそれぞれ地域でいろいろな方にお世話になっているだろうと思い、それでは自分も地元でと始めました。

ど のように見守っていますか

宇野さん 毎朝、通学路の危険な場所に立って見守っています。わたしのほかにも朝は自分の孫が通学する期間だけ立っているという方もいます。旅行や行事のときだけ、年間数日程度休んでいますが、これまで体調不良などを理由に見守りを休んだことはありません。今ではわたしの習慣となっています。

神さん 下校時間に合わせてさいたま栗橋線の交差点など危険な場所の通学路に立っています。学年によって下校時間が違うので、児童が多い時間帯



朝の通学を見守る

のなかの30分から1時間程度見守りをしています。悪天候のときは下校時刻の変更はないか小学校に確認することもあります。元気なうちは、続けられるうちは何年でも続けたいです。

登 下校時の子どもたちと交流は

宇野さん 朝の登校は通学班でまとまって行くので、みんなと元気よくあいさつを交わし交流しています。

神さん 下校のときはハイタッチしてくれます。こちらも楽しい気持ちになります。ただ、高学年になってくると女の子は恥ずかしがってしてくれない。見守りを続けていると、どんどん子どもたちに親しみが湧いてきますね。



子どもたちとハイタッチ

長 年続けてきて印象的なことはありますか

宇野さん 6年生が卒業するとき、わざわざあいさつに来てくれることもありました。

見守りを始めて最初に見ていた1年生が今はもう成人して立派な大人になっています。今でもときどき会うとあいさつをしてくれます。

神さん まだ体が小さく、大きなランドセルを背負った新一年生のときから、日々成長する姿を見て、送り出し、迎えて見守っている。とても感慨深いですね。

今回のインタビュー時、お二人は大したことはないよというふうにとさらりとお話をされていましたが、十数年間に渡って見守り立ち続けるということは決して簡単なことではなく、中途半端な気持ちではつとめることは決してできません。お二人は区の役員を経験されているということもあって、地域のためにと考えた意志もあるのだと思います。

みなさんのお住まいの地区にも、見守り活動をなさっている方がいらっしゃると思います。優しく頼もしい「地域の目」が、今日も子どもたちと保護者の安心を支えています。

私は就任以来、「ずっと住みたい緑にあふれたキラキラ光る元気なまち」の実現に向け、職責の重大さを日々感じながら多くの皆様のご指導やご協力を賜り、町政運営に取り組んできました。

これまで、更なるまちの賑わいを創設するため、「平成の町普請！伊奈備前守忠次公によるまちづくり」事業として、町名の由来となった伊奈氏の屋敷跡の散策路整備や忠次公関連イベントを実施してきました。地元の方々や皆様のご協力のもと、まちづくりが着実に進んでいることを大変嬉しく思い、今後は観光資源としての活用が図れればと考えています。

このようなまちづくり事業をより進めるうえで、新たに「アグリ推進課」と「元気まちづくり課」を設置します。この2課を中心にして高齢化の進展等による後継者不足や遊休農地の増加など、本町農業を取り巻く状況への対応と、まちの元気、まち全体の活力につながる商工業の振興・発展に努めます。



利便性の高い運行が期待されています

平成28年12月に立ち上げた「行財政改革推進会議」においては、「バラ園の効率的な運営について」「いなまるの現状と今後について」の二つの答申をいただきましたので、これを施策に反映していきます。

また、高齢者の社会参加や健康づくりの支援体制の確立を図り、元気で長生きしていただくために「健康長寿教室」を引き続き開催し、多くの皆様のご参加をいただきました。そして、高齢者世帯を地域の皆様で支える「お年寄り世帯見守りたい事業」を開始しています。今後も、さらに見守りの輪が広がることを期待しています。

そのほか、子ども医療費の高校生までの窓口払い廃止、伊奈中央駅エレベーター設置に向けた詳細設計の実施、町立小中学校トイレの洋式化の推進、南小学校校庭の芝生化、小針中学校教室の増設および既存校舎改修工事や町制施行50周年に向けた事業の検討開始など、町の発展に資する取り組みを実施してきました。



芝生化した南小学校校庭

昨年9月には群馬県みなかみ町と「友好都市提携協定」を締結いたしました。同町とは、平成17年から両町の観光協会を通して友好を深めていましたが、行政間におきましても、さまざまな分野で協力を図り、友好関係を強固にしていくことで双方の認識が一致し、この協定を結びました。

未来を担う子どもたちのため、しっかりと将来を見据え、何が求められ何をなすべきか、町として適時的確に対応するとともに、伊奈町の緑豊かな環境を守り・育てながら、私の公約である5つの重点施策「福祉の充実と健康長寿のまちづくり」「教育の充実とスポーツ振興で豊かなまちづくり」「産業振興で元気いっぱいのもちづくり」「町民に優しく防災に強い開かれたまちづくり」「緑と自然を生かしたまちづくり」の実現に向け、各種施策に全力で取り組んでいきますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。



町を代表する果物のひとつの梨



多くの来場者でにぎわうバラ園



健康長寿教室

ありがとうございました



- ♥(有)細田スポーツから5万円を町政の進展に役立ててほしいとご寄付がありました。町で有効に活用させていただきます。
- ♥平成29年度各小中学校 PTA からそれぞれの学校に次のご寄付がありました。
 - ・小室小に簡易組立式テント1張
 - ・小針北小に CD 付きラジオカセット4台、DVD プレーヤー1台、オーブントースター1台、スneaドラム2台、スneaスタンド2台、レインボーハーフストーン1セット
 - ・伊奈中にプロジェクター1台、デジタルカメラ3台
 - ・小針中にテント1張、スチール棚1式
- ♥平成29年度卒業生・卒業生保護者一同からそれぞれの母校に次のご寄付がありました。
 - ・小針小に50型テレビおよびテレビ台1台
 - ・南小にモニター付移動式スタンド2台
 - ・伊奈中にホワイトボード2台、書画カメラ1台
 - ・南中に折りたたみ式テント1張
- ♥さいしん信栄会から5万円、伊奈山野草愛好会から2,800円、川田陽子氏(大針)から3万円、伊奈町ゴルフ連盟・伊奈町商工会青年部から10万円、BB会から5千円、(株)猪狩工務店から車イス2台、匿名1件から15,265円を社会福祉のために役立ててほしいとご寄付がありました。社会福祉協議会で有効に活用させていただきます。